

仕様

型式

許容荷重

テーブル寸法
W×L(mm)

ストローク
ST(mm)

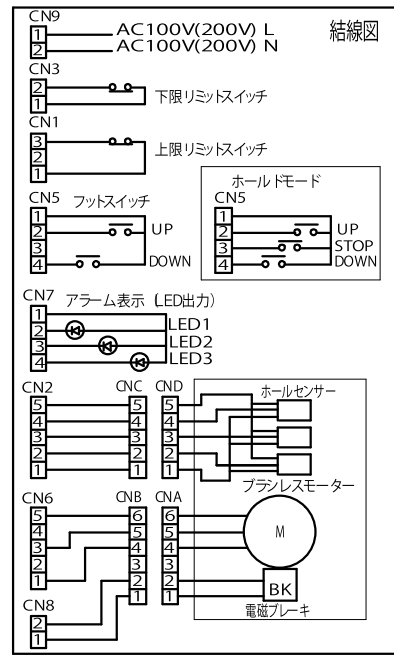
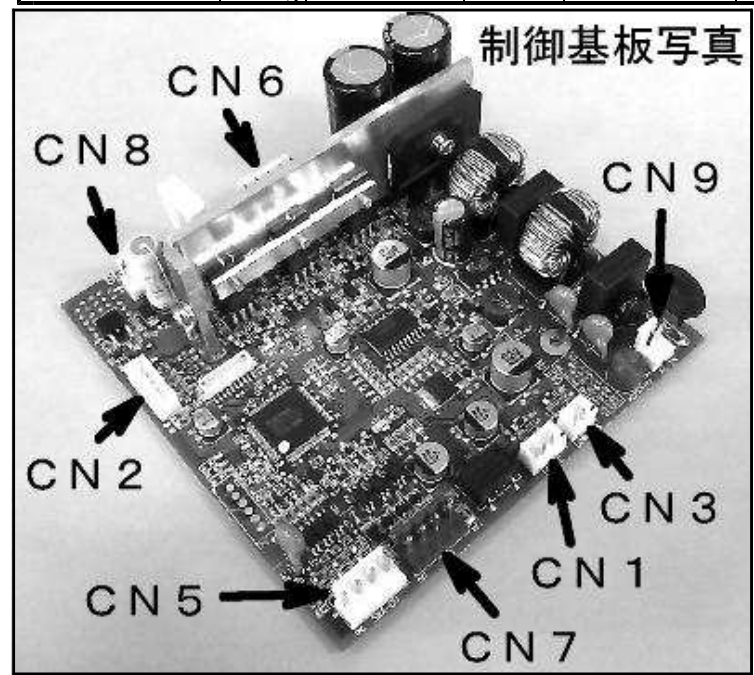
テーブル高(mm)
MIN～MAX

上昇時間
(秒)

最大使用頻度

モーター出力(W)

自重
(kg)

HDL-L1047V	100kg	400×720	500	80～580	10	30回/時	70	36
HDL-L1058V	100kg	520×850	500	80～580	10	30回/時	70	42
HDL-L1545V	150kg	400×500	350	80～430	10	30回/時	70	31
HDL-L1556V	150kg	520×630	350	80～430	10	30回/時	70	35
HDL-H1046V	100kg	400×650	430	130～560	10	30回/時	70	32
HDL-H1056V	100kg	500×650	430	130～560	10	30回/時	70	34
HDL-H1058V	100kg	520×850	430	130～560	10	30回/時	70	40
HDL-H2547V	250kg	400×720	500	150～650	22	15回/時	70	45
HDL-H2558V	250kg	520×850	500	150～650	22	15回/時	70	50
HDL-W1046V	100kg	400×650	850	200～1050	23	15回/時	70	42
HDL-W1056V	100kg	500×650	850	200～1050	23	15回/時	70	44
HDL-W1058V	100kg	520×850	850	200～1050	23	15回/時	70	50
HDL-W2055V	200kg	500×500	630	200～830	14	15回/時	140	51
HDL-W2067V	200kg	600×750	630	200～830	14	15回/時	140	57
HDL-L1058VJ	100kg	520×850	500	80～580	10	30回/時	70	47
HDL-L1556VJ	150kg	520×630	350	80～430	10	30回/時	70	39
HDL-H1058VJ	100kg	520×850	430	130～560	10	30回/時	70	49
HDL-H2558VJ	250kg	520×850	500	150～650	22	15回/時	70	60
HDL-W1058VJ	100kg	520×850	850	200～1050	23	15回/時	70	59
HDL-W2067VJ	200kg	600×750	630	200～830	14	15回/時	140	66


品質保証書

お買い上げ日より1年以内もしくは可動回数4万回以内に正常な状態で使用して故障し、
弊社がその欠陥を認めた場合には無償修理致します。

お買い上げ年月日

年

月

日

型番

HDL

—

お客様

ご住所

お名前

様

販売店

住所

店名

TEL

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。
なお、離島及び遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品等で、お買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、本書に記載されている本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、及び損傷。
(ロ) 組立・取り付け不備による故障、及び損傷。
(ハ) お買い上げ後の場所移動、落下等による故障、及び損傷。
(ニ) 火災・地震・水害・落雷その他天災地変・公害による故障及び損傷。
(ホ) 本書の提示がない場合。
- 日本国以外で使用された場合、すべてに責任を負えません。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてはご不明な場合は、お買い上げ販売店または本書に記載の本社もしくは各営業所、サービスセンターにお問い合わせください。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号
お客様相談室 ☎ **0120-509-849**
E-mail: techno.center@trusco.co.jp
<http://www.orange-book.com/>



取扱説明書

No.270218

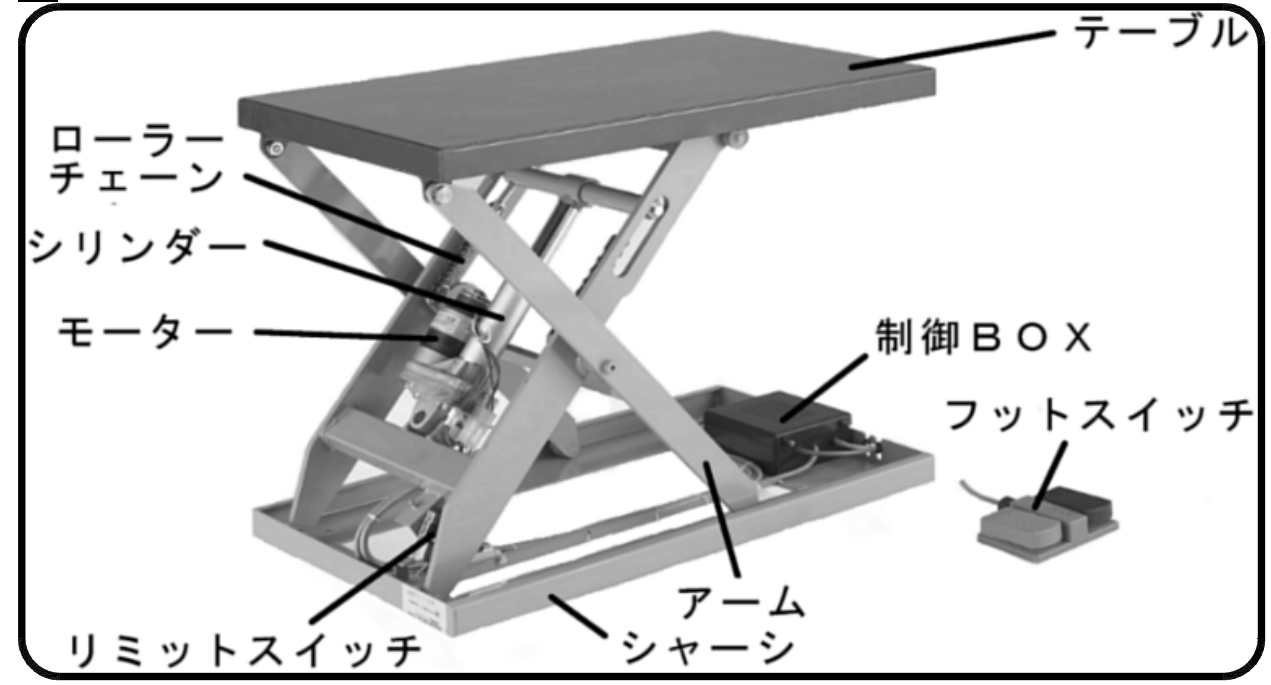
LOW LIFTER

ローリフター
(ブラシレスモーター・ベクトル制御仕様)

この度は、ローリフターをお買い上げ頂きましてありがとうございました。
本機を安全に、能率よくご使用頂くために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

- 注意
- 取扱説明書は大切に保管し、よく活用してください。
 - 取扱説明書は最終ユーザーに必ずお渡しください。
 - 取扱説明書や警告ラベルを破損・紛失した場合には、ただちに購入店に注文してください。
 - 取扱説明書で使用方法に不明な点や疑問点がある場合は、購入店にお問い合わせください。

1 各部の名称



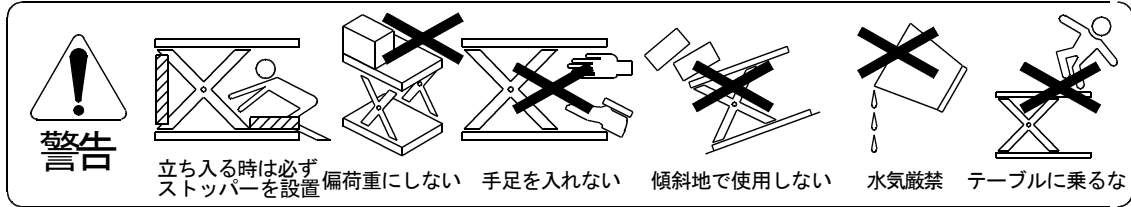
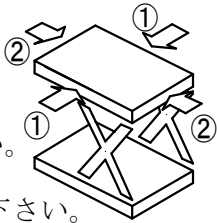
2 据付

- 屋内に据え付けてください。（塵埃の少ない、水、蒸気のかからない場所）
- 周囲温度 0～40℃ ●周囲湿度85%以下 ●高度1000m以下

- 危険
- 運搬、設置、配管、配線、保守、点検、は専門知識と技能を持った人が実施してください。感電、けが、火災、装置破損のおそれがあります。
 - 爆発性雰囲気中では使用しないでください。
 - 設置時などに、クレーンや手などでテーブルを持ち上げないでください。

3 安全上の注意事項

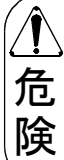
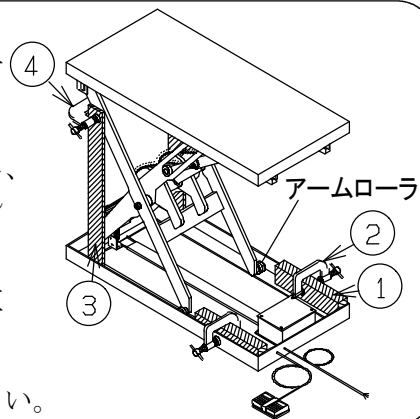
- リフターを運搬される場合は、テーブルを下限まで降ろし、シャーシ底部にロープを掛けて吊り上げるか、フォークリフトでシャーシ底部をすくい、**水平に運搬**してください。倒さないでください。
- 許容荷重**以上は載せないでください。
- 屋内専用**です。屋外には設置しないでください。
- 傾斜地**では使わないでください。転倒事故のおそれがあります。
- 積載物の移載時の許容荷重は右図の①は**1／4**②は**1／2**で設定してください。
- 基板のボリュームをさわらないでください。
- 改造**してのご使用はおやめ下さい。やむをえず、改造される場合はご相談下さい。
- 積み荷はテーブル面からは**み出ない**ように、又**片荷**や**集中荷重**にならない様均等に荷積みしてください。(テーブル面のほぼ中央の2/3以上を覆うこと)
- リフターの可動、昇降部分は危険です。絶対に**手足を入れない**でください。メンテナンス時には、挟まれないよう二重三重の安全対策を設けてください。
- 本機は防水仕様ではありません。**水気**のある雰囲気で使用しないでください。
- ピットにリフトを入れる場合には、湧き水や雨水が流れ込み**感電**のおそれがあります。排水設備・点検用のスペースを確保してください。
- ジャバラ**にさわったり、水を掛けたり、火気を近づけたりしないでください。
- 長期間使用しない時や、メンテナンス時には必ず**電源を切って**ください。
- 溶接作業を行う場合には基板等の**電気部品を全て外して**ください。
- 子供**にさわらせないでください。
- 異常を感じたら直ちに**お買い求めの販売店**にご連絡ください。



4 保守・点検時の下降防止安全対策

保守・点検などリフト内に入るときは、テーブル上の荷物や治具を降ろし、下降防止ストッパーを設置して電源を切り、テーブルやアームが下降して手足を挟まないように二重三重の安全対策を施してください。ストッパー等を設置しないとテーブルが下降して死亡災害のおそれがあります。

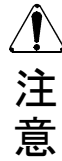
- 1, テーブル上の荷物や治具を降ろす。
- 2, テーブルを半分以上上昇させてください。ジャバラ付きの場合は、テーブル側のビス4本を外してジャバラを降ろすか、シャーシ側を捲り上げてください。
- 3, 左右のアームローラにストッパー（角材）①を噛まし、アームが下降しない様にし、且つストッパー①がずれないようにシャコ万力②でしっかり固定してください。
- 4, アーム支点軸側の端にストッパ（鋼材）③2本を垂直に立て、シャコ万力④でしっかり固定してください。
- 5, 電源を切ってください。
※ストッパー、シャコ万力等はお客様でご用意ください。



- テーブルをクレーン等で吊り上げないでください。破損の原因になります。
- 制御ボックスの基板には、電源を切っても完全に放電する制御基板上のLEDが消灯するまでまでさわらないでください。感電のおそれがあります。
- 下降防止対策をせずにモーターを外さないでください。油圧リフターとは違いますのでテーブルは即落下します。

5 操作方法

- 1, 電源コードを電源（単相、型式末尾が-12 は AC100V、型式末尾が-22 は AC200V、電流容量 5A 以上）に接続してください。
- 2, フットスイッチの”UP”を踏むと上昇し、放すと停止します。
- 3, フットスイッチの”DOWN”を踏むと下降し、放すと停止します。
- 4, 上限・下限に達したらリミットスイッチの働きで自動的に停止します。



- 1, 規定の最大使用頻度を超えないよう十分余裕をもってご使用ください。
- 2, 昇降スタート時、停止時に電磁ブレーキの開閉音（カッ）がしますが異常ではありません。
- 3, 上限・下限に達したら速やかにスイッチを離してください。アラームの原因になります。
- 4, 上昇端・下降端のリミットスイッチは出荷時に限界値で設定してあります。調整する場合は限界値を越えないように注意してください。限界値を越えますと破損の原因になります。

6 アラーム（警報）表示

マイコンに依り常に安全をチェックしています。

万一、異常を検知するとフットスイッチのランプを点灯させて異常箇所を知らせます。アラーム表示が出ましたら直ちに運転操作を止めて原因を調査の上、対策を行ってください。



<リセット方法>

- ・アラーム1～4：反対側のフットスイッチを押すと解除できます。
- ・アラーム5、6：電源を切ると解除できます。

[○一点灯 ●一消灯]

- 1：●●○ー上昇側電流検出（過負荷・上限リミットスイッチ不良等により、上昇中にモーターに過電流が流れた。）
- 2：●●○ー下降側電流検出（過負荷・下限リミットスイッチ不良等により、下降中にモーターに過電流が流れた。）
- 3：●○○○ー上昇不良（何らかの原因で上昇しなかった。）
- 4：○○●●ー下降不良（何らかの原因で下降しなかった。）
- 5：○○●○ーリミットスイッチ異常（破損等により上下限のリミットスイッチが同時に ON している。）
- 6：○○○○ーセンサー異常（ホールセンサーの異常）
- 7：○○●●→●○○●→●●○○ 繰り返しフットスイッチ異常（電源投入時スイッチが入った状態になっている）

制御基板上のLEDは電源が入ると点灯する物です。電源を切っても残留電気によってしばらく点灯しております。

7 その他の機能

- ・ホールドモード（3点押釦式）

自己保持運転のモードです。UPを一回押すと上限LSもしくはSTOPが入るまで動きます。DOWNも同様です。

電源投入後STOPを1回押すとその後電源を切るまでホールドモードで動作します。

お客様で改造するときには、次のページにある結線図を参考にストップの入力を追加してください。



上限・下限のリミットスイッチが正しく動作しているか確認してください。リミットスイッチの位置がズレていると破損します。

- ・シーケンサ入力

お客様で改造するときには、次のページにある結線図を参考にしてください。

必ずドライ接点で入力してください。

ただし、シーケンサに接続可能部はフットスイッチのUP・DOWNのみです。

8 保守点検

点検は必ず無負荷の状態にし、内部を点検するときは前記の下降防止安全対策を施してから行ってください。日常点検により万一異常が発見された場合、直ちに運転を停止し原因を調査の上、対策処理を行ってください。

日常点検	定期点検（稼働時から1ヶ月、3ヶ月及び1年毎）
■リフトの昇降動作に異常はないか。	■各接続部のボルト、ナット等の破損やゆるみはないか。
■周囲に傷害物はないか。	■可動部に異常摩耗はないか。
■本体外観上に異常はないか。	■溶接部の亀裂や破損はないか。
■異常音や異常発熱はないか。	■電気配線等に亀裂や破損はないか。
	■ローラチェーンにグリースを塗布してください。

※ドライシリンダーのギヤ部とボールねじ部には長寿命グリースを封入していますから、補給なしで長時間安心してご使用頂けますが、1年を目安にオーバーホールを実施して頂くか、ドライシリンダーを新品に取り替えてください。